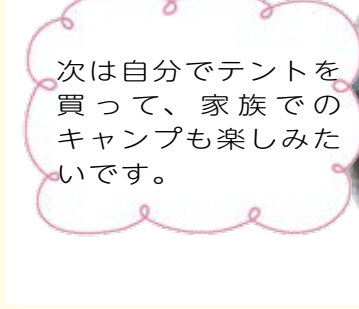
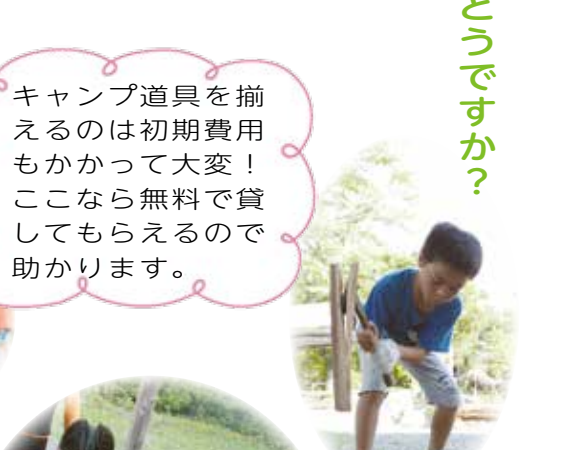




青少年いこいの家
主任 広田 光史さん

日帰り利用もお気軽に！
テントやその他の道具は無料で貸し出しできますので、アウトドア初心者の方にもとてもおススメです。テントの張り方が分からない、という方も常駐のスタッフに声をかけてもらえばアドバイスしますよ。もちろんバーベキューグリルなども貸し出ししていますので、日帰りでの利用も大歓迎です！食材や飲み物など身軽な荷物でお越しただけです。
団体でも、個人や家族でもお気軽にご利用ください。

《編集後記》
取材を進めているうちに、どんどん利用したいという気持ちになりました。何と言ってもテントや道具を無料で貸してもらえるのは魅力的！最低限の荷物でキャンプやバーベキューができるのは嬉しいです。取材後、テント泊で予約をしたのですが、悪天候で泣く泣く中止に…。秋にまた予約したいと思います。
また、年間のイベントの多さにも驚きました。どれも楽しそうなものばかりなので、今度参加してみたいと思います。皆さんもぜひ一度青少年いこいの家に行ってみてくださいね！

**親子キャンプを
取材しました**
7月8・9日に行われた「親子キャンプ」では、自分たちでテントを設営したり、川遊びや流しそうめんなど、楽しいことが盛りだくさん！参加者からは「親子2人でも職員の方がいろいろ教えてくださるので安心です。イベントを通じてお友達もできました」「テントを張るのは初めてで、悪戦苦闘。でも、完成した時の達成感は最高！」などの感想を聞くことができました。
皆さんとても楽しそうで、特派員も思わず「子どもと一緒に参加すればよかったなあ」とつぶやいてしまいました。

**利用者に聞きました！
いこいの家に来てみてどうですか？**
家族3世代13人で遊びに来ていた伊東さん・元さんファミリー。「初めて利用しますが、広々していて、子どもたちものびのび走りますし、大人数で楽しんでいます。ゆっくりバーベキューを楽しんだ後は、館内に宿泊します。お部屋もきれいでうれしいです。」と話していました。

カエルやカブトムシを見つけるのが楽しいです！

キャンプ道具を揃えるのは初期費用もかかって大変！
ここなら無料で貸してもらえます。助かります。

テントで寝るのが楽しみ！

次は自分でテントを買って、家族でのキャンプも楽しみたいです。



いながわ 特派員報告

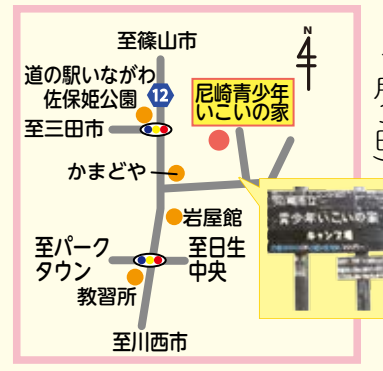
青少年いこいの家ってどんなところ？



道の駅からほど近いところにある「青少年いこいの家」。学校からのイベント案内などで知っているけど、実際に行ったことがないという方も多いのでは？今回は、楽しいことがいっぱいの青少年いこいの家をご紹介します。
▶問合せ 野外活動施設 青少年いこいの家（☎・F 768 - 0614）

青少年いこいの家とは？
猪名川町の豊かな自然の中で、季節を問わず誰でも気軽にアウトドア体験ができる野外活動施設です。日帰りから2泊3日まで利用でき、宿泊棟をはじめ、テントサイト、炊さん場、キャンプファイヤー場などがあります。
宿泊棟内には会議室や食堂、多目的室、ベッド室、和室があり、車で5分ほどのところにスポーツセンターもあるので、子ども会のイベントやスポーツクラブの合宿にもおススメです。
青少年いこいの家（以下「いこいの家」）から散策路を抜けると「道の駅いながわ」があります。バーベキューやカレーなどの食材を調達したり、隣接する佐保姫公園で水遊びを楽しむこともできます。
イベントも盛りだくさん
キャンプをはじめ、流しそうめんや大根の植え付け、野菜の収穫体験など、年間を通して様々なイベントが開催されています。いこいの家主催

利用料金			
日帰り		宿泊室（1泊）	
25歳未満	150円	25歳未満	300円
25歳以上	300円	25歳以上	600円
テントサイト		寝具一式	
1張（1回）	360円	エアコン	500円



利用申込 利用日の3カ月前から7日前までに電話で空き状況を確認してから予約。電話予約後、利用日の7日前までに利用許可申請書などをメール・FAXまたは郵送。
住所 万善寺東山6・1
休館日 年末年始（12月29日～1月3日）



自分の限界にチャレンジ



いろんな体験をした夏休み！



▲ 7月21～31日の期間、子育て支援センターで、「親子ふれあい交流ボランティア」。7月24・26日と8月3日には、保健センターで「子ども料理教室」。8月4・8日には、中央公民館で「こどもパソコン講座」など。夏休み期間中は、町内各所で様々な催しを行いました。数々の新しい体験をした子どもたちは、新たな可能性との出会いに、目をキラキラと輝かせていました。



やったぞ！全国制覇！！



左から河村さん・北村さん・辻さん・町長・池畑さん・後さん・上原さん

▲ 7月21～23日、第34回全国少年少女レスリング選手権大会に出場した猪名川レスリングクラブの上位入賞者が、その成績を町長に報告しました。優勝＝池畑葉菜さん（つつじが丘小・5年）、2位＝河村小町さん（白金小・6年）、北村春斗さん（つつじが丘小・4年）、3位＝後颯汰さん（楊津小・5年）、上原真志郎さん（楊津小・4年）、辻悠人さん（猪名川小・4年）



▶ 7月20日～8月3日、中央公民館で「エイブルアート2017」が実施されました。これは、姉妹都市であるオーストラリアバララット市と本町の障がいのある人たちが、作品を通じて交流しているもので、障がいのある人たちが世界に目を向ける機会となっています。

みんなに笑顔くれた猪名高生！



▲ 8月1日、猪名川高校で生徒などが子どもたちに楽しんでもらうために企画した「猪名高サマーセミナー」が開催されました。参加した100人以上の小学生や保護者は、手作りブロックでパズルを解いたり、英語や勾玉づくりを楽しみました。最後は子ども全員で〇×クイズ大会。大盛り上がりの日でした。



ふおとにゅ～す

全国を舞台に大健闘



▲ 7月27日、県中学校総合体育大会で猪名川中学陸上競技部が男子4×100mリレーで43秒45の大会新記録で全国大会出場を決めました。8月19～22日に行われた全国大会では、予選で自己新記録となる43秒33を記録しましたが、準決勝で惜敗しました。（左から森田裕貴さん・尾北智紀さん・町長・芝本悠典さん・仁部太貴さん、いずれも3年生）

15周年記念の年に10万人達成！



▲ 7月30日、猪名川天文台アストロピアが、来台者10万人を達成しました。10万人目となったのは、十河莉彩さん（寝屋川市・小学1年生）。地元産の採れたての夏野菜がたっぷり入った大きな箱と、天体写真を受け取った莉彩さんは、「びっくりしたけど、嬉しいです！夏休みの絵日記に書きます。」と、笑顔を見せました。

ばくも私もオレンジリングの「認知症サポーター」！



▲ 夏休み期間中、公民館講座や各小学校の学童保育全8教室で、「認知症キッズサポーター養成講座」を行いました。講師を務めたのは、認知症サポーターを増やすために町内各所で講座などを実施しているキャラバン・メイトの皆さん。低学年の児童が多い学童保育での実施は今年が初の試みでしたが、みんなが真剣に「認知症」について「見て」「聞いて」「考える」機会となりました。



海を越えたアートの交流

